

2023 vol.03

12 / 23 sat

関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科

# 公開セミナー & 入試相談会

kwansei gakuin university

入場無料・事前申込制

\*セミナー (13:00 - 14:20)


講演タイトル 十八世紀ドイツの啓蒙と倫理

かわむら かつとし  
講師 河村 克俊 (言語コミュニケーション文化研究科・教授)

\*入試相談会 (14:30 - 16:30)

西宮上ヶ原キャンパス G号館202教室

西宮市上ヶ原一番町1-155

 関西学院大学大学院  
言語コミュニケーション文化研究科

tel.0798-54-6180

[www.kwansei.ac.jp/g\\_language](http://www.kwansei.ac.jp/g_language)



# 公開セミナー 2023.12/23sat (13:00-14:20)

入場無料  
事前申込制

大学院言語コミュニケーション文化研究科の教員による講演会「公開セミナー」を開催します。  
セミナーの後は、研究科説明会および入試相談会を開催します。  
どなたでも自由にご参加いただけますので、お気軽にお申込の上、ご来場下さい。

## \*講演タイトル

### 十八世紀ドイツの啓蒙と倫理

#### \*概要

十七世紀の終わり頃から十八世紀にかけての西欧は一般に「啓蒙の時代」といわれている。それ以前は貴族や聖職者や一部の資産家しか享受することのできなかった学術や文化を、この時代には多くの一般市民もまた楽しむことができるようになったと考えられるからである。例えば、多数の人々に知識を提供する『百科事典』がまずイギリスで、その後ドイツとフランスで刊行されている。また、社会には階級があるけれども本来的には誰もが平等であり、それぞれの人は自分の潜在能力を可能な限り開発すると同時に他者を配慮すべきであるという考え方が、複数の思想家によって提示された。自由や人権に関わるこのような倫理観が、大学での講義や出版物を通じて多くの人々に受容されたと考えられる。本講演では、十八世紀ドイツの啓蒙と倫理について、当時の代表的なテキストを資料に考察する。

## \*講師紹介

かわ むら かつ とし

### 河村 克俊

(言語コミュニケーション文化研究科・教授)

関西学院大学法学部・言語コミュニケーション文化研究科教授

PhD Univ. Trier

専門は西洋近代思想、特に十八世紀ドイツ哲学

#### ■主な刊行物

『カントと十八世紀ドイツ講壇哲学の自由概念』(見洋書房、2022年)

『インターネットとヘイトスピーチ 法と言語の視点から』(共編著、明石書店、2021年)

G. ベーメ著『新しい視点から見たカント『判断力批判』』(監訳、見洋書房、2018年)

Schopenhauers Wissenschaftstheorie: Der "Satz vom Grund", (共著、Königshausen & Neumann, 2015)

Facetten der Kantforschung. Ein internationaler Querschnitt. Festschrift für Norbert Hinske zum 80. Geburtstag, (共著、Frommann-Holzboog, 2011) など

## \*会場アクセス

### 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

阪急電車 今津線「甲東園」駅  
または「仁川」駅から西へ  
徒歩約12分  
または「甲東園」駅から  
阪急バス約5分  
「関西学院前」下車

西宮市上ヶ原一番町1-155  
G号館202教室

[https://www.kwansei.ac.jp/pr/pr\\_000374.html](https://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html)



## \*「公開セミナー&入試相談会」

詳細・お申込みはこちら



[https://www.kwansei.ac.jp/g\\_language/news/detail/53](https://www.kwansei.ac.jp/g_language/news/detail/53)

お申込み締切日: 2023年12月21日(木)